



▼ 会員増強に思う

「入りたいと思えるワイズに。」

東日本区文献・組織検討委員会委員

城井 廣邦（東京むかで）



社会の意識が変わる時こそ  
ワイズの理念を語る。

何を目指しているのか。

私達が大切にしているワイズメンズクラブが会員減少という厳しい現実と直面しています。コロナの感染拡大で世界中が大変動し、空前の緊急事態宣言を実施し、

経済も落ち込み、企業も苦難に直面し、見通しが見えない社会になっています。

ライフスタイルの多様化が生まれ、改めて人生の生き方、楽しみ方を考え直す様になりました。今までのコトが通用せず、新たな価値観が求められることになりました。現在の社会意識、価値観、ライフスタイルで、入会して活動してみたいと思える点があるか、考えさせられます。

会員を集めるためには社会から魅力的に見えなければ実現しない。

今、入会者を増やしているクラブを分析すると、入会対象者の社会的意味にワイズが共感し、一緒にその活動を広げていきたいと考えています。社会が認める活動にはリーダーがいます。そのリーダーと手を組み、社会の関心の中で新たな活動をすることで、その周辺にいる仲間や友人もワイズの仲間になる可能性があると考えます。ターゲットを絞ることが大切。

具体的な活動を通して共感できる内容であること。

企業でいえば商品開発。

会員をどうやって増やすのか、具体的なテーマと活動手順までブレークダウンして考えなければなりません。コンセプトだけでは漠然としか相手に伝わりません。企

業は「商品」「サービス」といったモノやコトが必要です。ワイズの活動に関心を持っていただけるのか、とことん考えるべきです。

ワイズに都合よく考えない。

マニュアルでは新しい魅力はつくりえない。

ワイズの活動はマニュアルで相当規定されています。マニュアルによって活動しているとも感じます。しかし会員を増やすことは、人の心を動かすことが重要と考えます。市場に潜在化しているワイズの入会候補者が、自ら参加したくなるような活動を行うことが大切です。マニュアルには書いていないことです。

各クラブが本気になって会員拡大に取り組み、会員拡大のシクミをつくる。

ワイズでもマーケティング発想で考える。市場での存在価値と魅力をつくることで会員は増える。各クラブが本気になって会員拡大を考えるようにならなければ、クラブは一年いちねん衰退の一途をたどることになります。

全員で会員拡大のために何をすべきか、本気になって考えるべきです。だれか一人に任せていてはワイズの会員は決して増えません。そしてワイズの皆さんが新しいワイズのありかたをどう提案するか、具体策を持ってマーケティングするつもりで取り組み、一人でも多くの方に「おもしろいことやってるね。」と言われることを、考えることができればチャンスが見えてくるはずですよ。

《 城井廣邦さんのプロフィール 》

1945年5月	東京生まれ
1958年	東京 YMCA 少年部入会
1964年	東京 YMCA 少年部リーダー 東京 YMCA 野尻学荘リーダー
2012年3月	東京むかでクラブ入会
2017・2019年	東京むかでクラブ会長
2017年5月	シニア Y・Y・Y キャンプ企画委員長
2020・2021年	東日本区文献・組織検討委員 (株) 起案家会長 日本バウハウス協会専務理事

## ▼ 東新部EMCセミナー 報告

## 「東新部EMCセミナー 実施報告」

東新部エクステンション委員長・LT委員長

太田 勝人 (東京町田スマイリング)



開催日時:2021年2月20日(土)

13:30~15:30

開催形式:Zoom を利用したオンラインで開催

参加者:45名(東新部25名、東日本区他部19名、西日本区1名)

定刻に太田勝人委員長(東京町田スマイリング)が開会宣言をしてスタート。

セミナーの開催目的は「ワイズメンズクラブをより魅力的にするために」、そしてその結果「私たちの仲間を増やすために」をお伝えして、以下を始めました。

## 1. 挨拶

加藤義孝東新部部長(東京)、板村哲也東日本区理事(東京武蔵野多摩)

## 2. 参加者紹介

お名前を呼び、お一人5秒以内で自己紹介。

## 3. 発題

(1) 石田孝次さん(Change! 2022 推進委員・東京多摩みなみ)

『ワイズメンズクラブをより魅力的にするために』~ワイズの問題構造と解決のためのフレームワーク

(2) 伊藤幾夫さん(東日本区会員増強事業

主任・東京多摩みなみ)

『Change! 2022 - なぜ会員増強なのか!』

お二人から、現状を直視、そこからの論理的な分析、さらに有意義な提案を聴かせていただきました。

(※発題の詳しい内容は、3~4ページに掲載)

## 4. ディスカッション

休憩後、お二人の「発題」に対して、江口耕一郎さん(東京)のリードで、参加者を4つの Breakout Room (Session) に分け、まずグループリーダーのリードで20分間ほどグループ内の討議をしてもらい、それを受けてグループ毎の発表者に討議内容・意見などを発表してもらいました。



Room 1: リーダー=長澤弘(東京)

発表者=迫川由和(東京)

クラブの統合化、ファンドレイジング、クラブ活動の活性化等々認めますが、次のように報告されました。

- ① 大事なことはクラブを楽しい場にする、人間関係をもっと重視すること。
- ② 30~40歳代の女性を引き付け、入会してもらう努力をすること。
- ③ 強制はできないがYMCAの職員を誘うこと、など。

Room 2: リーダー/発表者=今井武彦(東京むかで)

① 2005~09年に設立された白金高輪・銀座・信越妙高クラブが、どうして閉鎖になっていったのか? 新クラブを設立しても軸となるキーパーソンがいることが大事である。

② 石田さんの発題を聴いて、YMCAを使用できる所在地にあるクラブとそうでないクラブとの違いはある。YMCAを使用できないクラブはそうでないクラブとの協働を目指したらどうでしょうか。

③ 統合化を聴いたが、その前にお互いクラブ同士の協働をまずしたらどうか。

④ 20~40歳代に入会してもらえ魅力づくりも課題。

Room 3: リーダー=深尾香子(東京多摩みなみ)

発表者=小早川浩彦(東京多摩みなみ)

① クラブの統合化は、お互い実行できる力が大事で

あり、部全体で支援すべきである。

② 高齢化は避けて通れないが、クラブがもっと引き付ける力が衰えている

のも事実である。外に向かってアピールしていく視点が大事。

③ 会費のありかたは、ファンドレイジングも入れてクラブ内で話し合うことが大事である。

Room 4: リーダー=松香光夫(東京町田コスモス)

発表者=城田教寛(東京町田スマイリング)

① 若年層の開拓、子育て世代、働き世代等へのアピール強化が大事。

② キリスト教精神をバックボーンにしているので、この点をもっとアピールして行ったらよいのではないかと。

③ 現会員はもっと他のクラブ例会に参加したり、イベント等にもっと積極的に参加すべきではないかと。

5. 「問題提起とその解決策」：発表は太田委員長  
本日一緒に学んだ内容は、大変建設的で、かつ普遍性を持った発題であったと思います。クラブ運営の困難さや迷いに直面した場合、この内容を紐解けばきっと良い解決策が見つかるものと確信しています。

6. 西日本区・大野勉さん(神戸ポート)より

- ①今日発題を聴かせて頂き有難うございます。ワイズは「奉仕と親睦」をもっと正面に据えたらどうか。
- ②ワイズとYMCAは 事業体と運動体を持ち、右足と左足の関係で一体であり、人と出会うことで成長と発展があることを意識しよう。

7. 閉会挨拶

最後に松香光夫東新部次期部長(東京町田コスモス)より、次のような閉会の挨拶がありました。

今日の「発題」と「問題提起とその解決策」を踏まえて、今後末広がりに発展していけたらいい、と思っています。皆さんからのお知恵をお貸してください。

また周年行事を活かし、かつこのセミナーの成果を活かして活動して参ります。どうぞよろしく願いいたします。

「 EMCセミナーの発題と解決策について 」

Change! 2022 推進委員

石田 孝次 (東京多摩みなみ)



私は、スピーカーの一人として、『ワイズメンズクラブをより魅力的にするために』と題して、スピーチする機会を与えていただきました。

基本的な問題意識は、ワイズの高齢化に伴う会員数の長期低迷や、コロナ禍にあつて、各クラブの活動が長期にわたり停止状態を余儀なくされています。

これを受けて、私の「発題」の構成は、

- (1) ワイズへの入会動機
- (2) 実体験から悟ったボランティア活動の類型化
- (3) クラブが元気を取り戻す＝活動量の増加
- (4) 活動なくして「魅力」は生まれない
- (5) 魅力のないクラブに人は集まらない

(6) 「活動量」を増やすには

(7) 現状を変える解決策 としました。

具体的な提案としては、近隣クラブとの「協力関係」の強化や「クラブ統合化」を視野に入れた連携強化を進めることで、各クラブの活動ユニット(イベント単位)に相互乗り入れし、活動できる頭数をそろえることでお互いが支え合い、「活動を活性化」させ、「元気を取り戻し」、クラブを「楽しい場」に蘇らせることはできないかと言う提案です。

このことが、友人知人に対し自信を持ってワイズの「魅力」を伝え、感じていただくことになれば幸甚の極みです。

ボランティア活動の違い(類型化)

— 第三者に説明する際の手引き —

5W1H	なぜ(目的)	誰に(対象)		何を提供?	どの様に関わる?		いつ	どこで
3パターン	含む ファンドレイジング	対象はだれ?	見えているか?	種類	直接or間接?	方向性		
自助	ボランティア活動 含む F. R.	自クラブ	見える	主に労務 (汗)	直接的	一方通行	随時	様々
公助	ボランティア活動	YMCA、 災害被災者	見えない	寄付、募金、労務 (お金と汗)	間接的	一方通行	随時	様々
共助	ボランティア活動 含む F. R.	地域 コミュニティ	見える	労務中心 (汗)	直接的	双方向	開催日 前後	イベント 中心

以前の「Change! 2022 ニュース No.12」(2020年6月発行)で、「ボランティア活動の断面図」と題して巻頭文を載せていただきましたが、今回は、それを縦軸に「ボランティア活動」における「自助」「公助」「共助」、横軸に「5W1H」のマトリックス表【上図】にまとめてみました。ボランティア活動の違いの理解に役立つと思います。



※左のPDFマークをクリックすると、東日本区ホームページに掲載してある石田さんのプレゼン資料を全て見ることができます。

「なぜ会員増強なのか！」

会員増強事業主任

伊藤 幾夫 (東京多摩みなみ)



コロナ禍での会員増強のご苦勞に感謝いたします。

みなさんご存知のように、コロナ以前から、ワイズの置かれている状況、とくに会員減少、高齢化はきわめて深刻な状況です。コロナが会員減少に拍車をかけていることも確かです。とくに、東新部が“危険水域”に達して

会員数																					年齢				
190																					70				
180	179																			70					
170	171																			69					
160	165																			68					
150	151	154	153																	68					
140	148																			67					
130																			66						
120																			66						
110																			65						
100	62	61	62	62	65	63	63	62	63	62	62	64	139	136	126						64				
90																			63						
80																			62						
70	58	59																	61						
60	58																				60				
年度	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	(歳)

賛同は頂くことも多いのですが、活動まではないなかなか同意をいただくには至っておりません。

ただ、クラブの活動に一朝一夕に理解をいただくのは難しいと思いますので、根気

強く会員増強活動を行うことが大事だと思います。

これから、出来ることを一生懸命やって行きたいと思

います。

1つ目は、1997年から2020年までの東新部会員数と会員平均年齢の推移をグラフ【上図】にして示しました。「会員は減少し、平均年齢は増加している」ことがはっきりと見て取れます。

▼ 3・11 東日本大震災10周年事業

東日本大震災支援対策本部

3月11日で東日本大震災から10年となり、仙台の4クラブ(仙台・仙台青葉城・仙台広瀬川・石巻広域)が中心となって、YMCA、東日本区と合同で『3・11 記念礼拝と追悼の集い』が石巻において行われました。また、「東日本大震災10年誌」への寄稿にもご協力ください。

2つ目は、ワイズの年代別分布から、70歳以上の会員が全体の63%を占めていることがわかりました。「このままで行くと10年後、東新部は他部に先駆けてワイズの存亡の危機に直面する」ことが見てとれます。もう“おしりに火がついている”状態です。会員増強は喫緊の課題なのです。

関東東部 EMC を考える集い

～E:笑顔で、M:もっと、C:クラブ活動を！～

▼ 各部 会員増強事業主査より

「コロナ禍で苦戦の会員増強」

北海道部主査 矢竹 克年 (十勝)



昨年より続くコロナ禍のために、どのクラブも活動に支障をきたしている事と思います。

十勝ワイズメンズクラブにおいても、活動に制限があり、なかなか思うように会員増強の活動が出来ておりません。

本来ならば、仕事においてもプライベートでも、人に接する機会が多いため、各方面にワイズメンズクラブの活動の意義のお話することも多いのですが、電話等のやり取りでは、なかなか踏み込んだお話もできず、面と向かってお話をしないと、やはり説得力に欠けます。

仕事が自営業ということで、コロナ禍のために影響があり、時間的にもいろいろの制約があり、厳しい状況ではありますが、機会があればお話しさせていただいております。

▼日時：2021年3月28日(日) 15:00～17:00  
Zoom会議 (14:45からZoom接続)

▼プログラム

- ・なぜ会員増強が必要か Change! 2022 の働き (藤井寛敏)
- ・関東東部における会員増強の現状と目標 (浅見隆夫)
- ・会員増強(M&C) 発表および質疑応答
  - 堀江和広 <多くの会員を紹介したワイズ>
  - 柳井 恵 <最近入会し、積極的に行動しているワイズ>
  - 樋口順英 <元気な交流が目立つワイズ>
- ・新クラブ設立(E) 発表および質疑応答
  - 高田一彦 <千葉ウエストクラブ設立について、何が設立に導いたか>
  - 宮田康男 <新クラブ設立への鼓動>
  - 金丸満雄 <新クラブへの設立に向けて>

▼参加方法：下記の URL をクリック

<https://us02web.zoom.us/j/6829997830?pwd=T0t4WjVHTllaMVMzMETkL0UwL05VQT09>

▼申込み 3月20日ごろまでに布上征一郎部書記まで  
090-7277-7719 [s.nunogami@nifty.com](mailto:s.nunogami@nifty.com)